



吉祥寺パークエリア

まちの将来像立案に向けて ～吉祥寺パークエリアまちづくり 庁内プロジェクトからの提案～

目次

1章 はじめに

- 1-1. 吉祥寺パークエリアのまちづくりに必要なこと
- 1-2. 将来像実現までのイメージ
- 1-3. 将来像立案に向けてこれからみなさんと考えていきたいこと

2章 パークエリアの現況・特性

- 2-1. 上位計画・関連計画
- 2-2. パークエリアの魅力・資産と課題

3章 庁内プロジェクトチームが考えた 吉祥寺パークエリアの将来像のイメージ

- 3-1. コンセプト
- 3-2. パークエリアが目指すまち
- 3-3. パークエリアのまちづくりで大切にすること
- 3-4. パークエリアのゾーニング、ゾーンごとの特徴や目指す姿
- 3-5. パークエリアの将来イメージ
- 3-6. 各ゾーンごとの将来イメージ

4章 今後のスケジュール案

- 4-1. 今後のスケジュール案

資料編

- 武蔵野市吉祥寺パークエリア庁内プロジェクトチーム
会議実施記録
(令和3(2021)年5月～令和5(2023)年3月)
- 武蔵野公会堂社会実験
実施記録 (令和4年(2022)年12月実施)

1章 はじめに

このプロジェクトは入庁10年前後の若手・中堅職員を中心とし、吉祥寺パークエリアの将来像立案に向け、市民やまちの関係者との対話のたたき台となる資料を検討するため、令和3(2021)年5月に設置されました。

1-1. 吉祥寺パークエリアのまちづくりに必要なこと

吉祥寺パークエリアのまちづくりに必要なこと

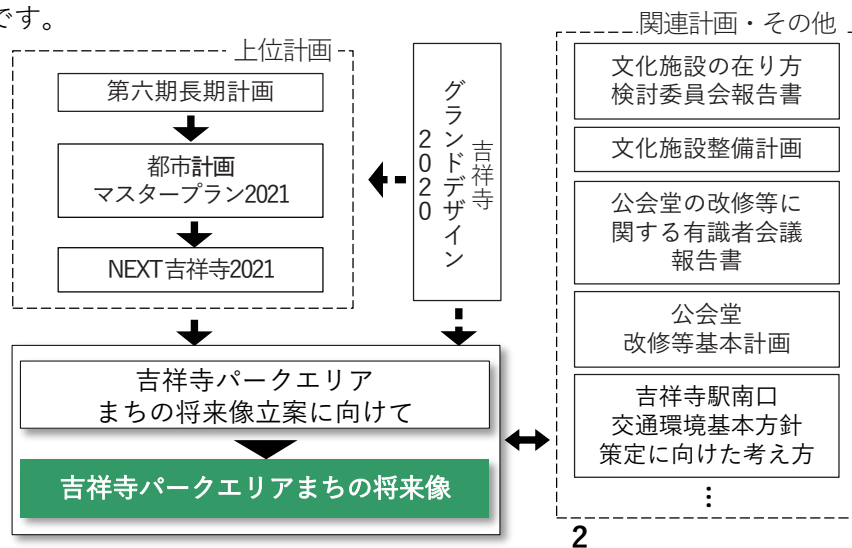
地域の動向や課題に則した、具体的なまちづくりの取組みの方針となる将来像の立案が求められています。

- 吉祥寺駅周辺地域は、「武蔵野市第六期長期計画（以下「第六期長期計画」という。）」「武蔵野市都市計画マスタープラン2021（以下「都市計画マスタープラン」という。）」「吉祥寺グランドデザイン2020（以下「グランドデザイン」という。）」及び「NEXT吉祥寺2021（以下「NEXT吉祥寺」という。）」において、エリアごとに課題や検討の方向性が示されています。
- 駅周辺エリアの一つである吉祥寺パークエリア（以下「パークエリア」という。）では、長年の交通課題に対応するための南口駅前広場の整備や、南口駅前広場整備後に残される交通環境に関する問題の解決に向けた検討を進めています。また、令和5（2023）年に築60年を迎える武蔵野公会堂については、第2期武蔵野市公共施設等総合管理計画において築80年を目標の耐用年数に設定するとともに、周辺街区のまちづくりの動向を注視しつつ、エリアが抱える地域課題の解決に向け、まちづくりの将来構想とともに一体的な検討を進めています。
- さらに、これらの公共施設の整備・再編に加え、経年による周辺の民間建物の建て替えなど、今後大きく市街地の変化が進んでいくことが想定されます。
- パークエリアが今後も魅力的なまちとして発展、継続していくためには、これらの動きを一体的に捉えるとともに、今後想定される社会やまちの変化に対して、それぞれの事業や実施主体がバラバラに対応するのではなく、同じ方向を目指して、まちづくりを進めていくことが不可欠です。
- そのため、パークエリアについてより細やかな視点で地域の動向や課題に則した具体的なまちづくりの取組みの方針となる「吉祥寺パークエリアまちの将来像（以下「まちの将来像」という。）」の立案が求められています。

「まちの将来像」の位置づけ

まちの将来像は、上位計画である第六期長期計画、都市計画マスタープラン、NEXT吉祥寺との整合性を図りながら、吉祥寺のまちのコンセプトブックである吉祥寺グランドデザインを踏まえ、具体的なまちづくりの取組みの方針を示すものです。

また、「武蔵野市文化施設の在り方検討委員会報告書」や、「武蔵野市文化施設整備計画」、「武蔵野市立武蔵野公会堂の改修等に関する有識者会議報告書」を踏まえて作成中の改修等基本計画のほか、「吉祥寺駅南口交通環境基本方針策定に向けた考え方」など、関連計画を踏まえながら、まちの将来像を立案していきます。



対象範囲

上位計画やグランドデザインにおいてパークエリアとして区分された範囲のうち、吉祥寺駅南口から徒歩3～4分圏内の武蔵野公会堂を中心とした下記の点線で示した範囲を対象とします。



「まちの将来像」立案を目指して、みなさんと共に考えていくための材料の一つ（たたき台）として活用します。

- 「まちの将来像」は、今後想定される社会やまちの変化に対して、市民やまちの関係者（地権者や建物オーナー、事業者やNPO、来街者など）が同じ方向を目指して、ともにより良いまちづくりを進めていくために“共通の行き先”を示すものです。
- “共通の行き先”を決めていくためには、武蔵野市が行政としての考えを示しながらも、従来の公共事業中心の視点だけではなく、より柔軟で幅広い考え方をもち、市民やまちの関係者と一緒に考え、行動していく必要があると考えています。
- 本書「吉祥寺パークエリアまちの将来像立案に向けて」（以下「将来像立案に向けて」という。）は、令和3(2021)年度から2カ年にわたり、武蔵野市の若手・中堅職員による庁内プロジェクトチームを設置し、プロジェクトチームメンバーが考えるパークエリアとして大切にすべきまちづくりの視点や目指すべき未来のまちの姿について話し合い、その結果をまとめたものです。
- 今後、市民やまちの関係者との対話、有識者の知見などを踏まえた「まちの将来像」立案を目指して、みなさんとの“共通の行き先”を考えていくための材料の一つ（たたき台）として活用していきます。

「吉祥寺パークエリアまちの将来像立案に向けて」の位置づけ

吉祥寺グランドデザイン 2020 (令和2年4月)

- 吉祥寺のまちを取り巻く様々な問題点・課題や、消費行動の多様化等の社会潮流に対応する。
- 今後30年の吉祥寺ブランドの方向性を定め、吉祥寺の将来像をこれまで以上にわかりやすく共感・共有しやすいものにする。
- ステークホルダーがそれぞれの役割と責任を自覚し、当事者意識をもってまちづくりを推進するためのよりどころとなるようまちづくりの方向性を示す。

NEXT吉祥寺 2021 (令和3年9月)

- 今後10年のまちづくりの方策をまとめ、上位計画である「第六期長期計画」「都市計画マスタープラン」との整合性を図りながら、吉祥寺のまちのコンセプトブックである「グランドデザイン」を踏まえたまちづくりを推進する。
- まちづくりの戦略において「駅周辺の交通体系の改善及び魅力的なパークエリアの将来像立案」を基本的な方針の一つとしている。

吉祥寺パークエリア まちの将来像立案に向けて (本書)

「まちの将来像」立案を目指して、市民やまちの関係者と共に、将来像を考えていくための材料の一つ（たたき台）

市民やまちの関係者への周知・対話・議論

有識者の知見

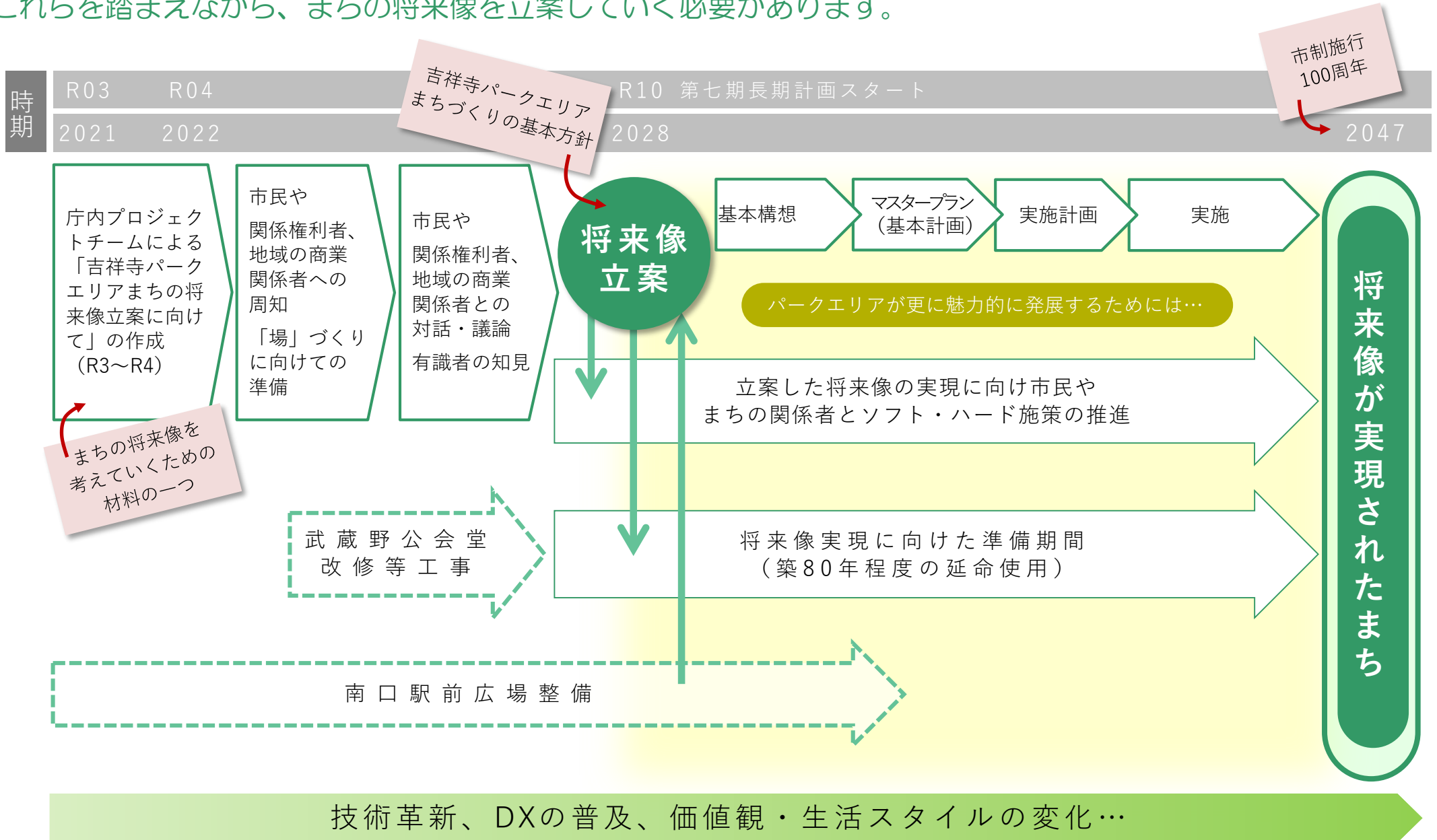
吉祥寺パークエリア まちの将来像 (これから立案・策定)

パークエリアにフォーカスし、より細やかな視点で地域の動向や課題に則した、具体的なまちづくりの取組み方針を示す。

将来像が実現されたまち

1-2. 将来像実現までのイメージ

5年後、10年後、20年後…それぞれのフェーズで様々な取り組みやまちの動き、大きな社会の潮流があります。これらを踏まえながら、まちの将来像を立案していく必要があります。



1-3. 将来像立案に向けてこれからみなさんと考えていきたいこと

まちの将来像立案にあたっては、市民やまちの関係者が着目する点は多様であると考えています。今よりもさらに魅力あるパークエリアを目指して、みなさんと一緒に次の項目について考えていきたいと思います。

パークエリア
における課題



将来像立案に向けて市が考える課題や
市民のみなさんが感じている課題の共有

コンセプト



まちづくりのテーマをわかりやすく
表現して伝える言葉

パークエリアが
目指すまち



パークエリアがどのようなまちに
なっていて欲しいか

パークエリアの
まちづくりで大切にすること



まちづくりで大切にしたい視点や考え方

目指すまちの実現に向けた
具体的な取組み方針



パークエリアのどこで、
誰がどんなことに取組むのか

2章 パークエリアの現況・特性

2-1. 上位計画・関連計画

上位計画

武蔵野市第六期長期計画

概要

武蔵野市第六期長期計画は、市の全ての個別計画の最上位に位置し、市の10年後に目指すべき姿を定め、その実現に向けた5つの基本目標と8つの重点施策を示し、分野を超えた総合的な視点でまちづくりを進めるとしています。

市の10年後の目指すべき姿：誰もが安心して暮らし続けられる魅力と活力があふれるまち

5つの基本目標

1. 多様性を認め合う支え合いのまちづくり
2. 未来ある子どもたちが希望を持ち健やかに暮らせるまちづくり
3. コミュニティを育む市民自治のまちづくり
4. このまちにつながる誰もが住み・学び・働き・楽しみ続けられるまちづくり
5. 限りある資源を生かした持続可能なまちづくり

8つの重点施策

1. 武蔵野市ならではの地域共生社会の推進
2. 子どもと子育て家庭を切れ目なく支援する体制の確立
3. いつでも安全・安心を実感できるまちづくりの推進
4. 豊かな文化の発展と活力をもたらす産業の振興
5. 三駅周辺の新たな魅力と価値の創造
6. 武蔵野が誇る緑を基軸とした環境都市の構築
7. 時代の変化に応じた市民自治のさらなる発展
8. 未来につなぐ公共施設等の再構築

パークエリアに関する記述について

重点施策5において、「三駅周辺の新たな魅力と価値の創造」が掲げられており、以下のことを示しています。

- 積み重ねてきた風土や文化、活動を大切にしつつ、市民や市民活動団体、事業者等の様々な主体によるまちづくり活動の始動を支援し、地域特性を生かしたまちづくりを進める
- 市民等による自発的・自立的なエリアマネジメント活動の展開を支援し、公共空間の社会的で文化的な価値を創出していく

都市基盤分野の基本施策6において「活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり」が掲げられており、パーク

エリアにおいては、以下のことを示しています。

- 南口駅前広場の整備事業を推進し、歩行者と車両が輻輳するパークロードの交通環境の改善、北口駅前広場を含む駅周辺道路の交通体系の再編について検討する
- 駅から都立井の頭恩賜公園に向かう新たな歩行者動線の整備について検討を進める
- 武蔵野公会堂について「武蔵野市文化施設の在り方検討委員会」での検討を踏まえ、周辺街区のまちづくりの動向を注視しつつ、エリアが抱える地域課題の解決に向け、まちづくりの将来構想とともに一体的な検討を進める

NEXT吉祥寺2021

概要

NEXT吉祥寺2021は、「進化するまち『NEXT-吉祥寺』プロジェクト-吉祥寺グランドデザイン推進計画-」の策定からおよそ10年が経過し、本市を取り巻く環境の変化やまちづくりを進める中での複合的な課題に対応するとともに、様々な主体との連携が求められる状況のなかで、「吉祥寺グランドデザイン 2020」で示された将来ビジョンの実現に向け、今後10年で進める取組みを示しています。

パークエリアに関する記述について

基本的な方針の一つとして「駅周辺の交通体系の改善及び魅力的なパークエリアの将来像立案」を明記しており、以下の取組みを推進するとしています。

- 駅周辺の交通体系の改善（交通結節機能の再編）
- 南口駅前広場の整備
- 武蔵野公会堂を含むパークエリアの将来像立案
- 駅から都立井の頭恩賜公園までの道のりのデザイン・整備

また、パークエリアを含めた吉祥寺駅周辺地区において、以下の重点的な取組みを示しています。

- 快適な居場所づくりの推進に向けた各主体との連携
- 緑の保全・創造・利活用の推進
- 震災への備え
- 安心して過ごせる環境づくり
- 地域に根差した魅力を向上するまちづくりの実践

概要

武蔵野市都市計画マスタープラン2021では、おおむね 20 年後の市の姿を見通しながら、市民・事業者等と市が共有するまちづくりのビジョンとして目指すべき都市の姿や方向性を示すとともに、その実現に向けた都市計画の基本方針を示しています。

パークエリアに関する記述について ※本プロジェクトにおいて特に関係すると思われる部分を抜粋

第4章：目指すべき都市構造において、今後10年間で積極的に取り組む主要なプロジェクトを示しています。

- まちの更新と培ってきた魅力の継承
 - 高経年劣化が進んでいる建物もあるため、建物更新などの健全化を促進する
 - 中層階の利用促進や来街者が比較的少ない平日にまちを利用する業務用途などの導入を促進する
 - 緑を感じられる空間を誘導していく
- 都市基盤の改変にあわせた新たなまちづくりの検討
 - 駅前広場やその周辺では、公共交通機関や歩行者の安全で円滑な利用を確保するため、駅前広場等の交通機能や滞留空間の充足について、面的な市街地再編も視野に検討を進める
 - 駅前広場等の交通機能の充足にあたっては、公共施設の更新や、将来の地域経済、地域社会状況に対応する産業・文化機能の充実についてもあわせて検討する
 - 吉祥寺駅南口駅前広場の整備や武蔵野公会堂のあり方にあわせ、パークエリアの都市機能の更新について検討する
- ウォーカブルなまちづくりの推進
 - オンラインでは代替しがたい、居心地が良く訪れたいまちを目指す
- いつまでも安心して生活できるまちの維持と都市基盤の計画的な更新
 - 高い水準の地域公共交通ネットワークの維持に加え、分かりやすい情報提供などにより、誰もが利用しやすい交通システムを構築する
- 民間の仕組みや参入によるオープンスペースの形成や活用の促進
 - 場所や期間を限定した社会実験を実施することで、将来像を地域全体で体感するとともに、実現への課題や可能性を明らかにしていく

第6章：地域別まちづくりの方針において、吉祥寺地域の将来像に関して以下のことを示しています。

- 個性的な店舗や飲食店、商店街、大規模店舗などの商業施設を中心に、業務、医療、文化交流施設など様々な機能が集積し、都内でも有数のにぎわいが創出された回遊性が高い枢要な地域の拠点が形成されています。
- 周辺では、都立井の頭恩賜公園の他住宅地の緑豊かな環境とゆとりある街並みを維持し、様々な世代が安心して住み続けられる高質な住環境が形成されています。

また、まちづくりの方針において、パークエリアに関する以下の取組みを示しています

- 南口駅前広場の整備を進めるとともに、面的な市街地再編も視野に検討を進める
- 武蔵野公会堂について交通課題の解決に向けた検討内容や武蔵野市文化施設の在り方検討委員会の提言内容を踏まえ、更新の時期や手法について検討する
- 面的な市街地再編を検討するにあたり、文化交流施設、商業施設、業務施設、産業支援施設など当該エリアに求められる都市機能について検討する
- 都立井の頭恩賜公園の緑と水、風が感じられる駅前空間と歩行者動線を創出するため、バリアフリールートとして、パープル通りを整備するとともに七井橋通りの無電柱化による防災性・景観性の向上を図る
- 歩行者と路線バスが交錯するパークロードの歩行環境の改善する
- ポケット広場やベンチ、オープンカフェなど憩いとにぎわいの滞留空間の確保するとともに、官民連携によるオープンスペースの利活用について検討する
- 快適でウォーカブルな空間を整備し、回遊性の高い商業・業務地の形成を図る
- 文化施設等を生かし、市民が身近で芸術文化を体験し、活動・交流できる環境を形成する

吉祥寺グランドデザイン2020

概要

吉祥寺グランドデザイン2020は、改定委員会やワークショップにおいて多くのメンバーにより様々な議論を行い、30年後の中長期を展望したまちづくりの方針を示したものであり、市が策定する行政計画としてではなく、吉祥寺のまちづくりに関わるすべての人の“コンセプトブック”として策定しました。

パークエリアに関する記述について

エリアごとのまちづくりとしてパークエリアのまちづくりが示されており、以下の項目に取組むとしています。

- 南口駅前の顔づくり
 - 都立井の頭恩賜公園へいざなう空間の整備
 - バス・タクシー交通の再編による安全で快適な歩行環境の整備
 - 老朽化建物の補強・リノベーション・更新
- 公園周辺の住環境保全と公園アクセスのバリアフリー化
- 南口駅前および周辺一帯の市街地再編

また、エリアワークショップにおいてパークエリアについて以下の提案がなされています。

- 駅利用者のための滞留空間や歩行者スペースの確保等、再開発によるオープンスペースづくり
- 観光案内所、サインの設置、駅から公園までのルートの景観形成により、住民も楽しめる観光地づくり
- 各季節楽しめるスポットづくりや外国人向けの散策ルートによる都立井の頭恩賜公園の魅力向上
- 文化的背景を活かした武蔵野公会堂の再生。武蔵野からの文化発信
- 駅前、通り、公園を緑でつなぎ、都立井の頭恩賜公園を強く感じることができるパークなエリアに
- バス通りを回避し、都立井の頭恩賜公園を身近にすべく、井ノ頭通りに歩道橋を架橋。クリーンでグリーンに
- 交通問題や建物老朽化を克服すべく、大街区化や交通結節機能の強化による吉祥寺改造計画
- 開発の遅れや交通問題等、みんなで未来を真剣に考え、話し合う場をつくる

武蔵野市文化施設の在り方検討委員会報告書

概要

文化施設の在り方検討委員会では、文化振興基本方針や第六期長期計画を踏まえ、文化施設の施設整備計画策定のため、市の文化施設の現状のレビューを行い、今後の施設の在り方や活用方法について検討しました。

レビューの結果

武蔵野公会堂のレビューを行った結果について、以下のことを示しています。

「評価できるポイント」

- 手頃な価格で楽しめる芸術文化プログラムが提供されている
- 駅前に立地しており交通アクセスが良い
- 市民からの認知度が高く、愛着が強い

「課題となるポイント」

- バリアフリーに課題が多い
- 特徴的な建物外観も周辺建物に埋もれてしまっている
- 地域の芸術文化に関する活動と施設貸し以外にかかわりを持たず、文化施設としての求心力が弱まっている

当面の文化施設の活用について

当面の文化施設の活用等について、武蔵野公会堂に関連して以下のことを示しています。

- 発表、実演又は育成の場として市民文化会館と一定のすみ分けがなされている
- 市民の発表の場、芸術文化事業の提供の場として長年にわたり使われてきており、市民の利用経験も多く、認知度や期待度も高い。引き続きこのエリアにおいて市民文化の交流拠点・発信拠点としての機能を有していくことが期待されている
- 設備の老朽化や、エレベーターが無くバリアフリー化されていないといったハード面での課題があり、まもなく築60年を迎え、施設の更新も視野に入る。一方、令和2年度に建物の構造躯体の健全度調査を行ったところ、所定の基準を満たしていたとのことであるため、設備・機能の更新による施設の延命化も選択肢の一つになると考えられている

「武蔵野市文化施設整備計画」

概要

文化施設整備計画は本市の最上位計画である第六期長期計画及び公共施設等総合管理計画に基づき、これを推進するために、文化振興基本方針及び文化施設の在り方検討委員会の提言を踏まえ、文化施設に関する類型別施設整備計画としてまとめたものです。文化施設がこれからも求められる機能を発揮し、市民の生活に潤いや活力を与えるとともに、地域の持続的発展に貢献していけるよう、今後の文化施設の整備方針や年次計画について示すことを目的としています。

文化施設の目指すべき姿

文化施設の目指すべき姿について、以下のことを示しています。

- ・ 障害のあるなし、年齢、国籍、LGBTQ、経済状況に関係なく、多様な価値観を持った人たちが集い、交流し、発信していけるよう、ハード面でのバリアフリーはもちろんのこと、心のバリアフリーなどへも対応を進める
- ・ 劇場・ホールにおける主催者用の通信環境や、市民に対するICTを活用した芸術文化活動を支えるための環境なども整備する

「武蔵野市立武蔵野公会堂の改修等に関する有識者会議報告書」

概要

武蔵野公会堂の改修等に関する有識者会議は、武蔵野公会堂改修等に関する基本計画を策定するにあたり、有識者から意見を聴取し、助言を求めるために設置されました。①武蔵野市文化施設整備計画において武蔵野市が示した公会堂の改善案に関すること。②公会堂の改修等の基本方針及び施設が備えるべき機能に関すること。③上記のほか、公会堂の改修等を検討するために市長が必要と認めること。について検討を行いました。

施設のコンセプト（目指すべき姿）について

施設のコンセプトの中でパークエリアに関連して、以下のように示しています。

- ・ 商業地域、住宅地域、都立井の頭恩賜公園の接点に位置するため、各々の魅力を守りながら、まちの魅力をさらに高めていく視点が重要となる。周囲のまちとつながり、まちの活気を生み出すとともに、将来の吉祥寺地域の姿を見据えた施設とする必要がある。市民・利用者・来街者に広く親しまれる施設となることが望まれる

「吉祥寺駅南口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」

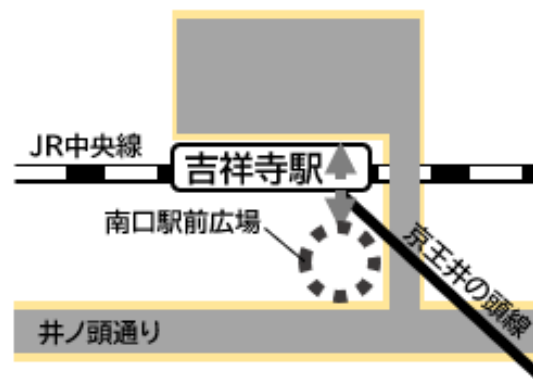
概要

吉祥寺駅南口周辺は、交通結節点としてバス乗車場の役割を有しているとともに、歩行者交通量が多く、車両や歩行者の混雑が生じています。事業を進めている南口駅前広場の整備だけでは、求められる機能をすべて満たすことはできないため、令和5年2月に「吉祥寺駅南口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」を策定し、南口駅前広場の整備後に残される問題を整理するとともに、解決に向けた複数の方向性を示しました。

問題改善に向けた方向性

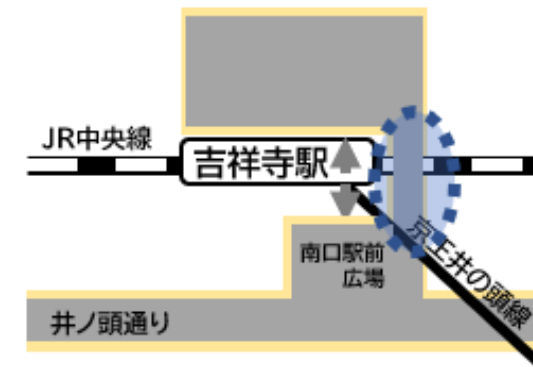
事業中

南口駅前広場にバス停を整備



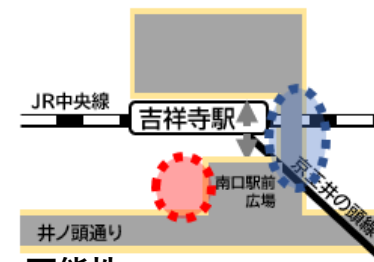
検討の深度化

吉祥寺大通りに井ノ頭通りのバス停を移設



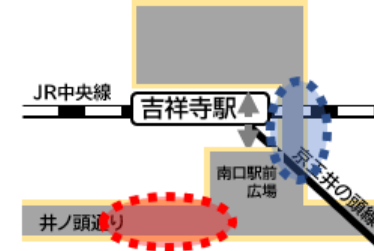
可能性

a-南口駅前広場の拡張



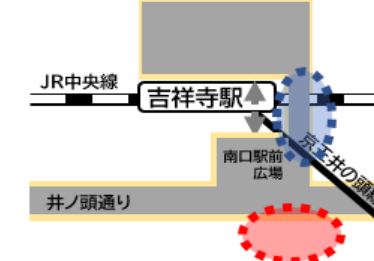
可能性

b-井ノ頭通りの活用



可能性

c-井ノ頭通り南側街区の活用



※今後、記載内容が変わる可能性があります。

2-2. パークエリアの魅力・資産と課題

●パークエリアの魅力・資産



パークロードでは、商業機能が多く集積しており、駅から出ると目の前に多様な飲食店が混在し活気を生み出しています。



七井橋通りを中心に個性的な店舗が多く集積し、大衆化、量産化されていない独自の価値はパークエリアのアイデンティティの一つとなっています。



パープル通り沿道は、商業地域と住宅街の境界に位置しており、落ち着いた商業地でありつつ、主に戸建て住宅を中心とした住宅地としても恵まれた環境があります。



都立井の頭恩賜公園には豊かなみどりとオープンスペースがあります。この豊かなみどりとオープンスペースは、多くの市民・来街者にとっての憩いの場であり、パークエリアの大きな魅力となっています。



戸建中心の住宅街も多く、その品格、閑静でゆったりとした空気はパークエリアの財産となっています。

●パークエリアの課題



駅前・パークロードでは、歩行者が路側帯から車道にはみ出し、バスと歩行者の距離が近く危険な状況となっています。混雑していることも多く、車いすやベビーカーでは通行しづらい状況です。沿道にはペンシルビルが多く、高経年化していることや防災上危険であるといった課題があります。また、賃貸借料の高騰に伴い、個人経営の出店や新たな創業のハードルが高くなっていて、個性的な店舗が減少しています。

井ノ頭通り側はマルイ前で待ち合わせしている人、信号待ちの人、バスの到着を待つ人、歩行者が交錯し混雑している状況となっています。



七井橋通りから都立井の頭恩賜公園へアクセスするには階段を利用しなければならず、ベビーカーや車いすでは利用できない状況です。また、パープル通りから都立井の頭恩賜公園へのアクセスでも、スロープは設置されているものの、勾配がきつく、車いすやベビーカーでは利用しづらい状況です。



武蔵野公会堂付近には、駐車場の入り口などがあり、自動車と自転車・歩行者が錯そうしています。武蔵野公会堂は、その特徴的な建物外観が周辺建物に埋もれてしまっていることや、地域の芸術文化に関する活動と施設貸し以外の関わりが少なく、文化施設としての求心力が弱まっていることなどの課題があります。

また、開館から60年近くが経ち、バリアフリー化の遅れや各種設備の老朽化、文化施設としての機能不足などの課題を抱えており、今後のまちづくりを見据えた整備が求められています。パープル通りは住宅地に接しているエリアですが、街路樹などの緑が少なく、真夏には日影がほとんどありません。

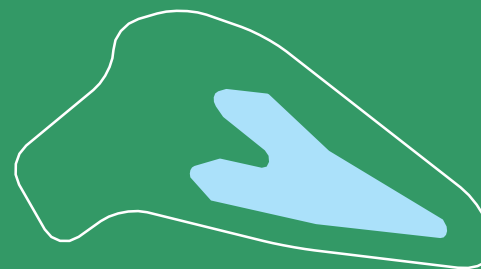
3章 庁内プロジェクトチームが考えた 吉祥寺パークエリアの 将来像のイメージ

3-1. コンセプト

思いがけない

出会いがある

まち



何気ない一日も、特別な一日も
くらしている人も、初めて訪れた人も

このまちには、自分らしく過ごせる居場所がある
このまちには、歩きたくなる道がある

居心地が良く、だれからも愛されるこのまちは
多様な表情を持ち、多様な人々が行き交い
思いがけない幸運な出会いがあちこちで生まれている

3-2. パークエリアが目指すまち

- ▶ 駅前や駅周辺の商業集積地、七井橋通りを中心とした個店の集積により形成される個性的な界隈、穏やかで品格ある住宅街、みどり豊かな都立井の頭恩賜公園の雰囲気など、多様な表情があります。
- ▶ 穏やかなくらしを大切にする人、様々な価値観を大切にする人、自分だけの時間や誰かと心地よく過ごす時間を大切にする人…
様々な背景、ライフスタイル、価値観を持つ多様な人々が行き交っています。
- ▶ 空が見え、楽しみながらそぞろ歩きができる、みどりの匂いや文化を感じるなどの豊かな体験や偶然の出会い・発見があります。
- ▶ 新たな時代やまちの変化に柔軟に対応しており、パークエリアの個性が多くの人を引き付け、新たなチャレンジができるまちになっています。

3-3. パークエリアのまちづくりで大切にすること

パークエリアの価値や魅力の 維持・向上に資する重要な5つのファクター

1. 多様性

駅周辺のにぎわいや個性的な店舗の集積による七井橋通り周辺と閑静な住宅地が隣り合うパークエリアの特徴・魅力を維持・向上させていくため、多様な価値観、ライフ・ワークスタイル、コミュニティを受け入れ、属性の違う様々な人同士が心地よい距離感で交わる環境を整えていくことが大切だと考えます。

2. 地域資源・文化

都立井の頭恩賜公園、個性的な店舗が集まる界限、穏やかで品格ある住宅地、親しみやすい芸術文化の拠点である武蔵野公会堂などの魅力的な地域資源が住民や来街者の体験を豊かにし、多くの人々を引きつけています。時代やまちの変化に対応していくため、これらの地域資源を生かしたまちづくりを推進し、将来にも受け継いでいくとともに、新たなチャレンジや価値観を柔軟に呼び込む環境を整えていくことが大切だと考えます。

3. 安全・安心

穏やかなくらしや活気あるにぎわいを継続するためには、まちが安全で、安心できる場所であることが必要です。安全で快適な歩行空間の確保、夜間も安心して歩ける防犯性など、住民や来街者が安心してまちで過ごすことができる環境を整えていくことが大切だと考えます。また、有事の際には帰宅困難者への対策など、まちで過ごす人々の安全性を確保することも大切だと考えます。

4. 環境との共存

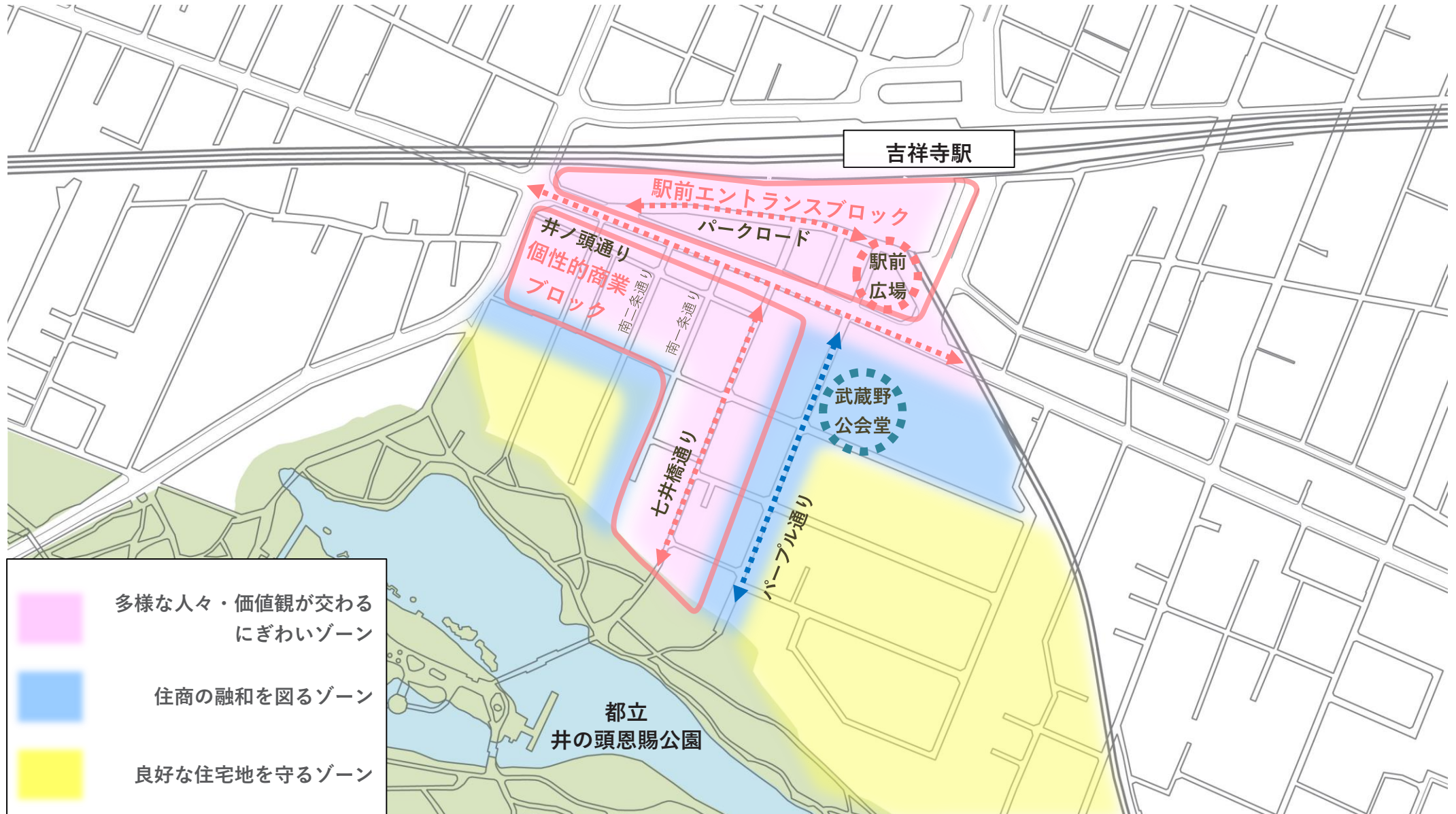
都立井の頭恩賜公園の豊かな自然環境がもたらす、潤いと安らぎ、それらを求めて訪れる多様な人々によるにぎわいは、本地域を含む吉祥寺のアイデンティティとなっており、パークエリアの将来像を語る上で自然環境と人々の活動の共存は、欠くことのできないテーマです。また、持続可能なまちづくりへの責任から、地域の環境保全だけでなく、先進的・多角的な取り組みやグローバルな環境保全への貢献も重要だと考えます。

5. 持続的にまちを 運営する仕組み

パークエリアの魅力を継続していくためには小さな店舗が自立していける環境づくり、住民と来街者を結ぶコミュニティづくり、挑戦しようとしている人を支援する場所づくり、歩きたくなるような安全で上質な歩行空間の維持など、地域を継続的かつ積極的に運営していくことや多くの来街者が訪れる吉祥寺のポテンシャルを活かした、経済循環の仕組みが必要と考えます。

3-4. パークエリアのゾーニング、ゾーンごとの特徴や目指す姿

地区の特性や現況、都市計画法に基づく用途地域を参考にパークエリアのゾーニングを行い、各ゾーンの特徴や課題を整理しました。



多様な人々・価値観が交わるにぎわいゾーン

特徴

- ・ 吉祥寺駅を内包しており、パークエリアの玄関口となっています。
- ・ 駅周辺は主に業務・商業機能が集積したにぎわいのある都市空間が形成されています。井ノ頭通り南側の集合住宅や低層住宅地と隣接しており、住民のくらしを支える日用品などを供給する機能を備えています。
- ・ 七井橋通り沿道およびその周辺を中心に、個店の集積による個性的な境界が形成されています。

目指す姿

- ・ パークエリアの玄関口として、来街者・観光客など多様な人々を迎えます。
- ・ 地域の経済活動を支える商業・業務機能が充実しています。
- ・ 快適な歩行空間と多様なヒト・モノ・コトが集積することにより、回遊性が高く歩きたくなる都市空間となっています。

住商の融和を図るゾーン

特徴

- ・ パープル通り沿道は、主に戸建て住宅が立地しています。
- ・ パープル通りは、自動車・自転車の交通量が比較的多く、井ノ頭通りから都立井の頭恩賜公園付近までアクセスできる限られた車両動線の一つとなっています。
- ・ 武蔵野公会堂は、市民及び地域社会の福祉の増進と文化の向上に寄与することを目的とした施設で、市民からの認知度も高く、利用経験者も多い文化施設です。築80年を目標の耐用年数に設定し、施設の改修などにより延命化を図ることで検討が進んでいます。

目指す姿

- ・ 住民と来街者が心地よい距離感で共存・共生しています。
- ・ 住宅地と商業地の調和をはじめ、地域の特徴にあった用途や機能が導入されています。
- ・ パープル通りは、都立井の頭恩賜公園へ誰もが安心してアクセスできるバリアフリールートとして整備されています。
- ・ 芸術文化・市民活動の交流拠点・発信拠点としての機能を有するとともに、新たな時代やまちの変化に対応しながら、吉祥寺の魅力をさらに高める文化・産業や、コミュニティを育む拠点を形成しています。また、帰宅困難者用一時滞在施設を有し、引き続き、吉祥寺駅周辺エリアの安全・安心が確保されています。

良好な住宅地を守るゾーン

特徴

- ・ 都立井の頭恩賜公園のみどりと調和した、戸建て中心の低層住宅地となっています。
- ・ 七井橋通りや井ノ頭通りのにぎやかさと棲み分けられた、静かで良好な住環境となっています。
- ・ パープル通り東側の住宅地は、静かで落ち着いた環境と比較的大きな規模の宅地と各敷地内の豊かなみどりがかつての別荘地の面影を伝えています。
- ・ 七井橋通り西側の住宅地は、穏やかな住民の生活の気配がする住宅地の中に、七井橋通りで形成されるにぎわいの流れを受けた、個店の立地も見られます。
- ・ 南二条通りなどでは住宅地を抜けて都立井の頭恩賜公園へアクセスする階段があり、地域住民を中心に利用されています。

目指す姿

- ・ 住民が穏やかに安心してくらし続けることができる環境が守られています。
- ・ 豊かな住環境が維持されながらも住民同士や来街者とのコミュニティが形成されています。

3-5. パークエリアの将来イメージ

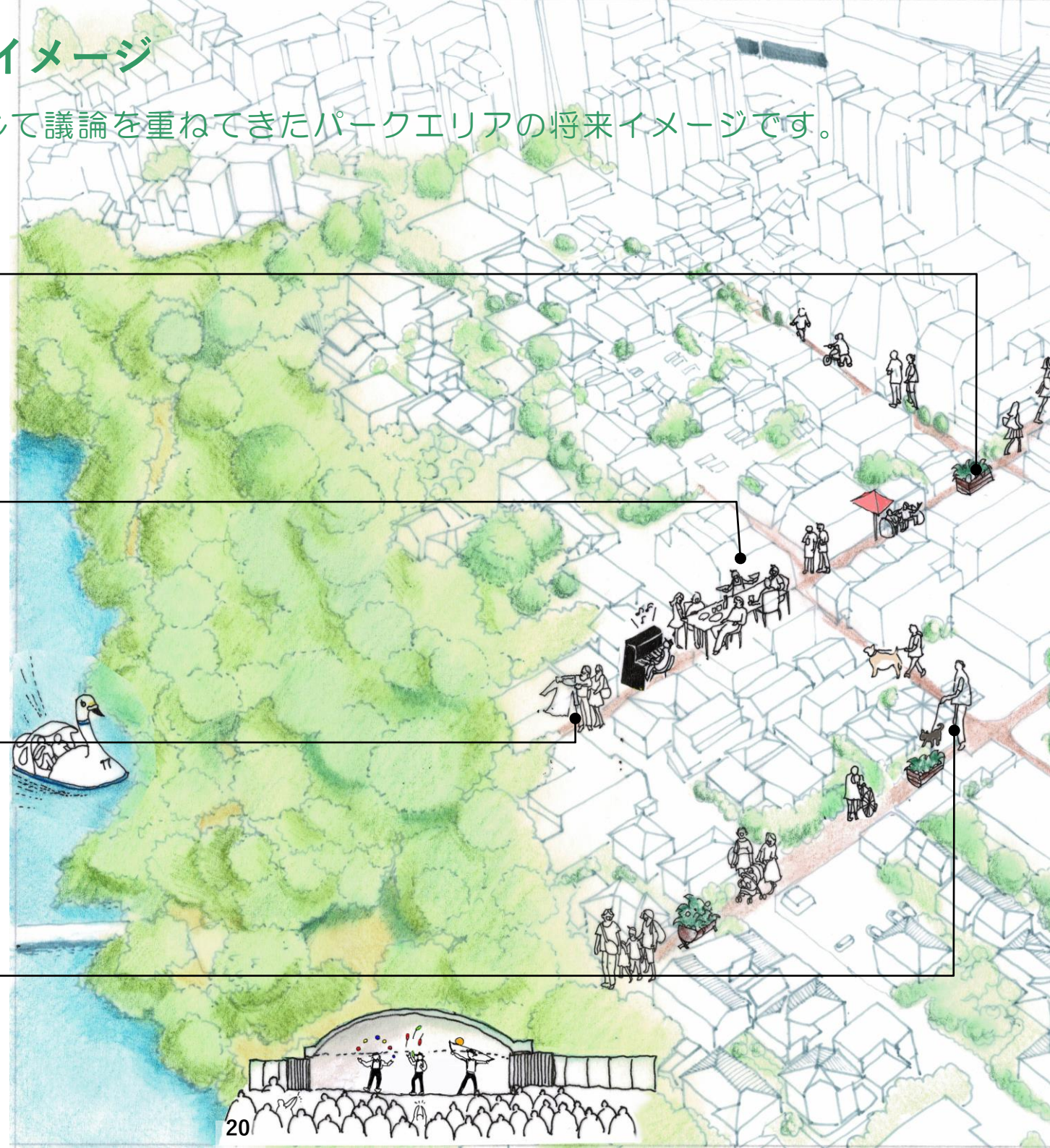
プロジェクトチームが会議を通じて議論を重ねてきたパークエリアの将来イメージです。

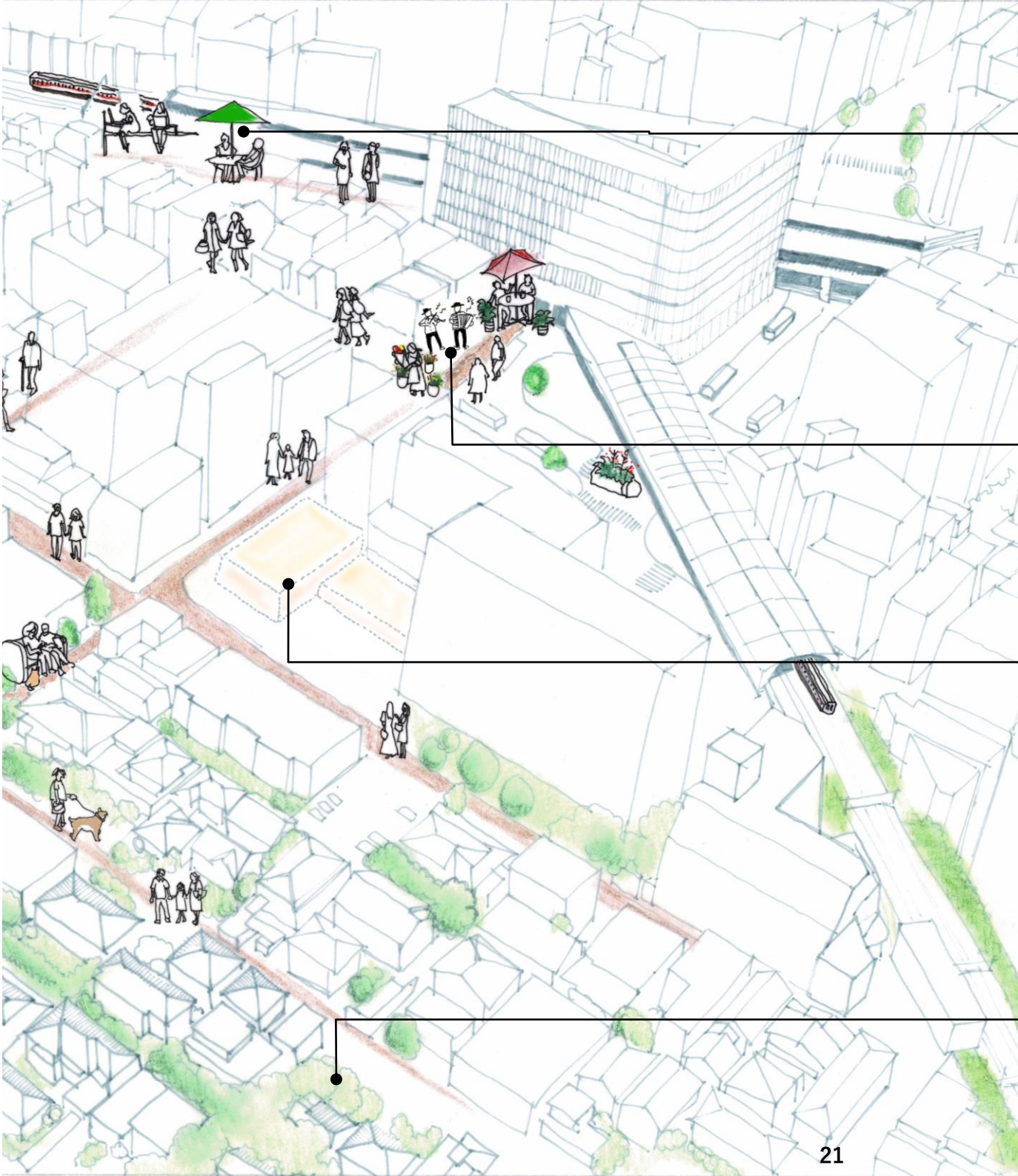
可動式グリーンファニチャーなどが設置され、都立井の頭恩賜公園のうるおいを取り込んだ魅力ある空間となっています。

古着のファッションショーが開催されたり、飲食できるロングテーブルが設置されるなど、多様な人々を引きつける歩いて楽しい空間となっています。

個性的な店舗が集積しており、パークエリアらしいにぎわいが創出されています。

ベンチやイスなどが設置され、住民や来街者など多様な人々のあいだで心地の良いコミュニケーションが生まれています。





オープンカフェやワークスペースなど
パークロードと沿道のお店が一体となっ
たにぎわいが創出されています。

オープンカフェやイベント開催時など
には歩行者専用の空間としても活用され、
多様な人々の過ごし方にフィットする吉
祥寺らしい駅前空間となっています。

まちに開かれた芸術文化・市民活動の交
流拠点・発信拠点となっています。

かつての別荘地の面影を継承したみどり
豊かで品格ある住宅地が守られています。

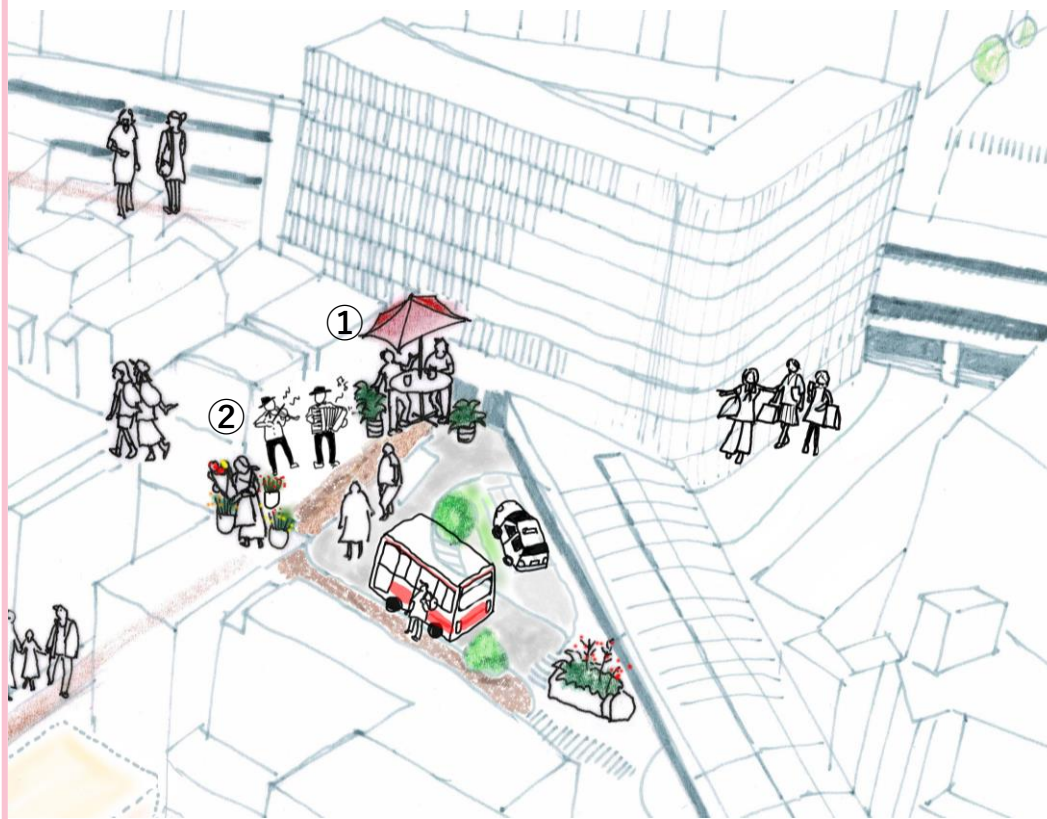
3-6. 各ゾーンごとの将来イメージ

多様な人々・価値観が交わるにぎわいゾーン

駅前エントランスブロック

南口駅前広場の整備イメージ

P10「吉祥寺駅南口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」に示されている南口駅前広場が完成した時のイメージを作成しました。



南口駅前広場が整備され、バス混雑の解消や交通結節機能が強化され、吉祥寺駅から出た瞬間に都立井の頭恩賜公園の存在やパークエリアの多様性・文化が感じられる駅前空間となっています。

例えば、オープンカフェの設置、駅前でもみどりを感じられるような仕掛けによる、過ごしやすくにぎわいにあふれた空間が創出されています。

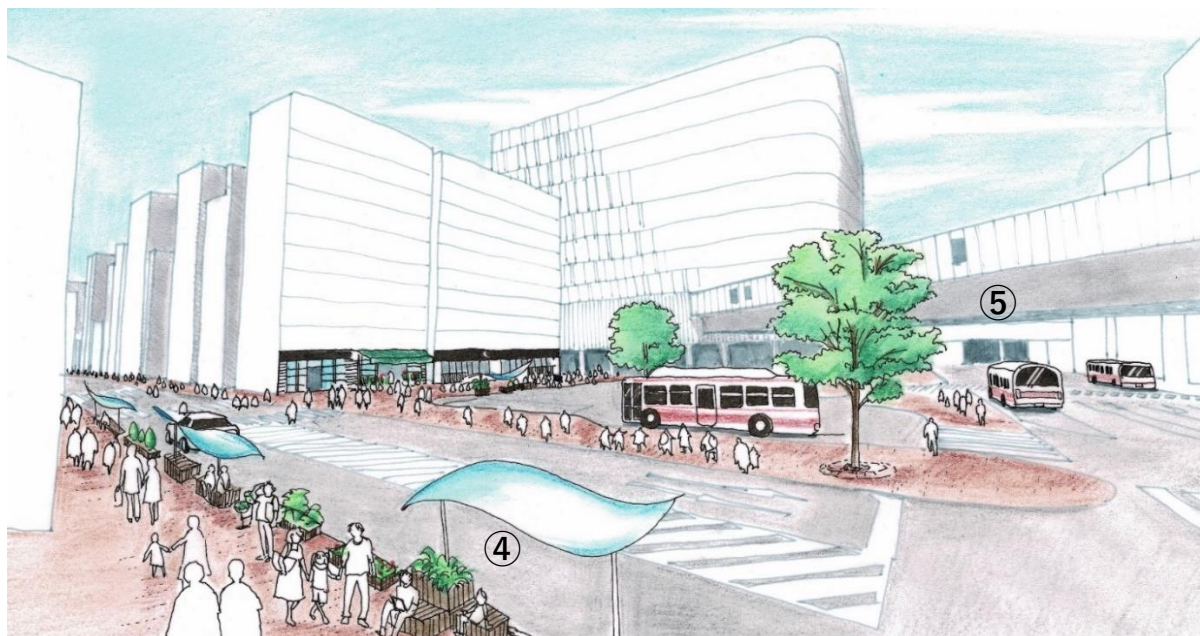
また、大規模災害などが発生した際には、住民や来街者の安全・安心を守る場所となっています。



パークロードは、南口駅前広場が整備されることにより、車両の通行が制限され、誰もが歩きやすい空間となっています。沿道の店舗による道路空間を活用したにぎわいが創出され、歩行者中心の空間となっています。

また、外に開かれたワークプレイスなど、働き方や暮らし方の変化にも対応した新たな産業が生まれています。

吉祥寺大通りに井ノ頭通りのバス停を移設したときのイメージ

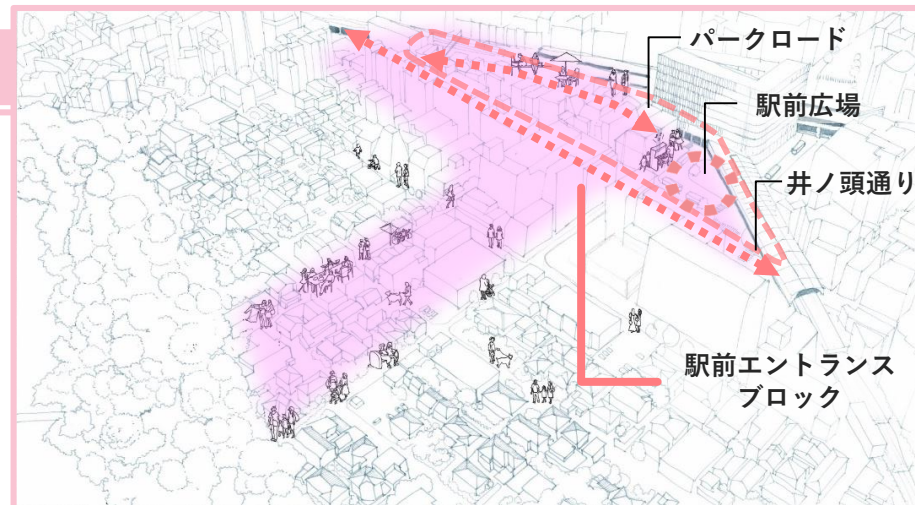


井ノ頭通り南側から吉祥寺駅を望む

吉祥寺大通りにバス停が移設され、交通負荷が軽減されたことによって、井ノ頭通りではゆとりある歩行空間が創出されています。

また、日常的にまちを使う地域住民や来街者など多様な人びとが利用できる広場空間となっています。駅前広場に面した建物の1階には、花屋やカフェなど明るい雰囲気のお店が出店し、地域住民が利用する上質な生活サービスの提供がなされ、地域のコミュニティの形成の場所としても利用されています。

広場空間は、週末や祝日にはイベントなどにも活用され、多くの来街者が集まる魅力ある都市空間として吉祥寺のにぎわいの核の一つとなっています。



- ① オープンカフェでゆったりとした時間を過ごしています。
- ② 駅前広場でストリートミュージシャンが演奏し、人々が集まっています。
- ③ 外に開かれたワークスペースで働いています。
- ④ 可動式グリーンファニチャーなど、緑が感じられるゆとりある空間で休憩しています。
- ⑤ 吉祥寺大通りのバス停でバスを待っています。

事業中の南口駅前広場の整備、交通体系検討の深度化の取り組みにおいても、交通結節点として求められる機能を得られない場合は、必要に応じて不足する機能を補う方策を検討します。

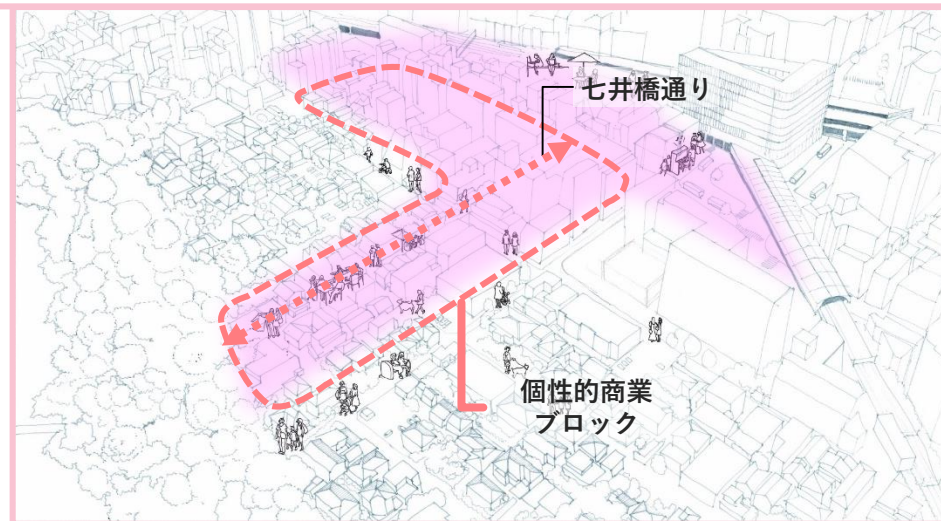
※P10「吉祥寺駅南口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」可能性a～c参照



個性的商業ブロック

個性的商業ブロックでは、新たにチャレンジする人が出店しやすい環境づくりがなされ、独自性や時代の流れを取り入れながら、個性的な店舗をはじめとしたパークエリアらしいにぎわいを維持し、さらに向上しています。

買い物やサービス利用のついでに、店員とお客さんが気軽に会話できる雰囲気づくりなどがなされ、様々な背景を持つ人が、自分や他者の個性を尊重できるコミュニティが形成されています。



七井橋通りは、無電柱化の整備が完了し、都立井の頭恩賜公園へのメインルートとして、沿道店舗のにぎわい創出や周辺地域と連携したイベント開催に道路空間を活用するなど、多様な人々を引きつける魅力ある空間となっています。

可動式グリーンファニチャーなど都立井の頭恩賜公園への連続的なみどりのネットワークづくりがなされ、都立井の頭恩賜公園のうるおいが取り込まれた魅力ある空間となっています。



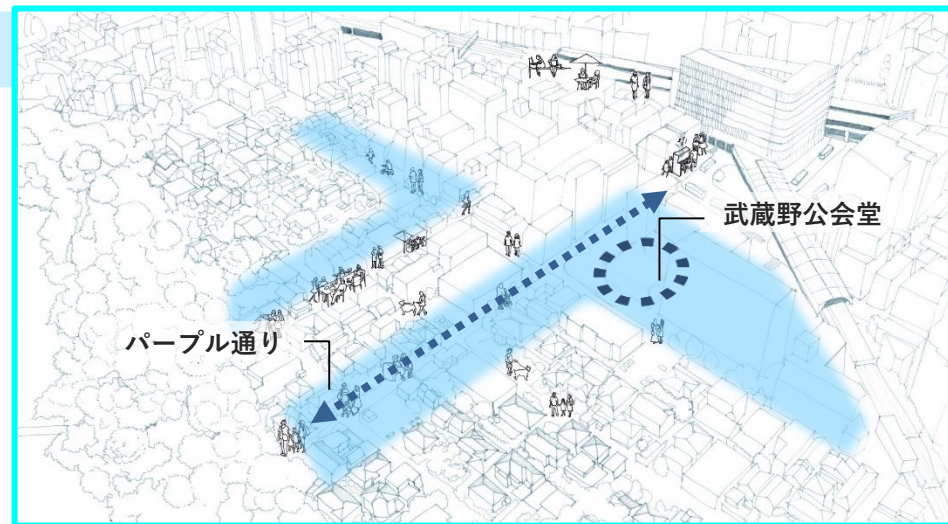
- ① 沿道の古着屋では古着のファッションショーなどが開催されています。
- ② 七井橋通りに面したオープンカフェで、ゆっくりとした時間を過ごしています。

住商の融和を図るゾーン

住民同士や住民と来街者の交流を促すベンチやイスの設置やコミュニティプラットフォームなどにより、住宅地と商業地、住民と来街者の良好な関係を育む場・機会が創出され、地域のコミュニティが形成されています。

パープル通りでは、無電柱化の整備が完了し、可動式グリーンファニチャーの設置や住宅地に配慮した景観形成など住宅地などの個性を感じる緩やかなにぎわいの街路空間やみどりのネットワークが形成されています。

また、自動車、自転車、歩行者の動線が整理され、バリアフリールートとしてベビーカーや車椅子利用者をはじめ、誰もがゆったりと利用できる都立井の頭恩賜公園へのアクセスルートとなっています。



武蔵野公会堂エリアは、音楽をはじめとした様々な日常利用の場、アートを楽しむことができるイベント、地域の新たな顔をつくる夜間イベントや新たにチャレンジする人への支援機能の導入などまちに開かれた芸術文化・市民活動の交流拠点・発信拠点となっています。

有事の際には帰宅困難者用一時滞在施設として機能し、受け入れ場所の確保や備蓄倉庫の整備を含め、引き続き吉祥寺駅周辺エリアの安全・安心が確保されています。

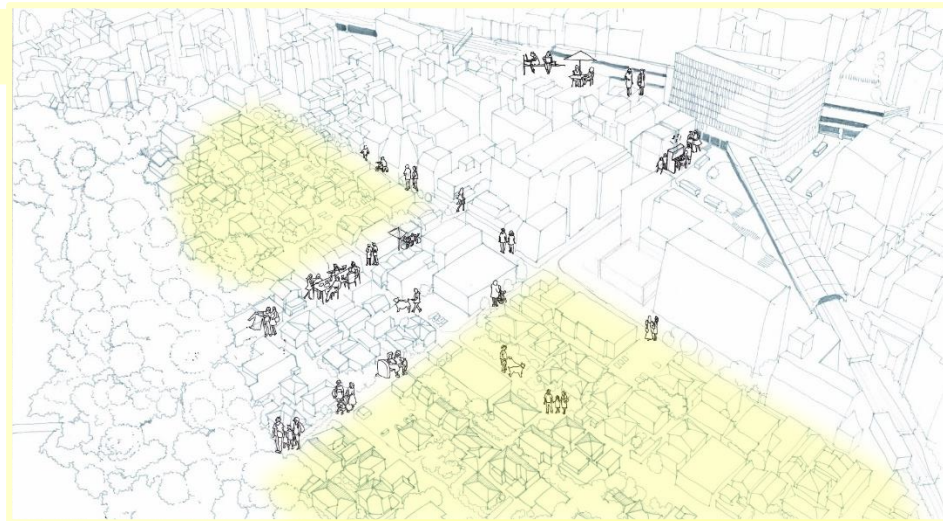
また、施設使用時の環境負荷を低減するサステナビリティガイドライン、ユニバーサルデザインや施設での活動と地域の関係づくりなどを支援するコミュニティマネージャーの導入などが実現しています。

- ① 気軽に座れるベンチが設置され、住民や来街者との交流がなされています。
- ② 様々な人々が談笑しながら歩いています。

良好な住宅地を守るゾーン

静けさや住民のくらしやすさに配慮された良好な住宅地を保つとともに、住民のくらしに寄り添った交流を促し、いつまでも住み続けたい住宅地が維持されています。

通過交通の削減や地域の方々と共同しながら地域を見守る活動、地域の防災性向上の取組みなど、安全・安心な住民のくらしが守られています。



宅地内のみどりや地域の魅力を継承するため、まちづくりのルールを設けることにより、かつての別荘地の面影を継承したみどり豊かで閑静な住環境が継続的に守られています。

宅地の保全や住民のくらしに寄り添った地域コミュニティを守るため、持続的にまちを運営する地域独自の仕組みづくりがなされています。

例えば、ペット税の導入によるペットのための施設整備などを通して地域住民のくらしに寄り添った地域コミュニティが育まれています。

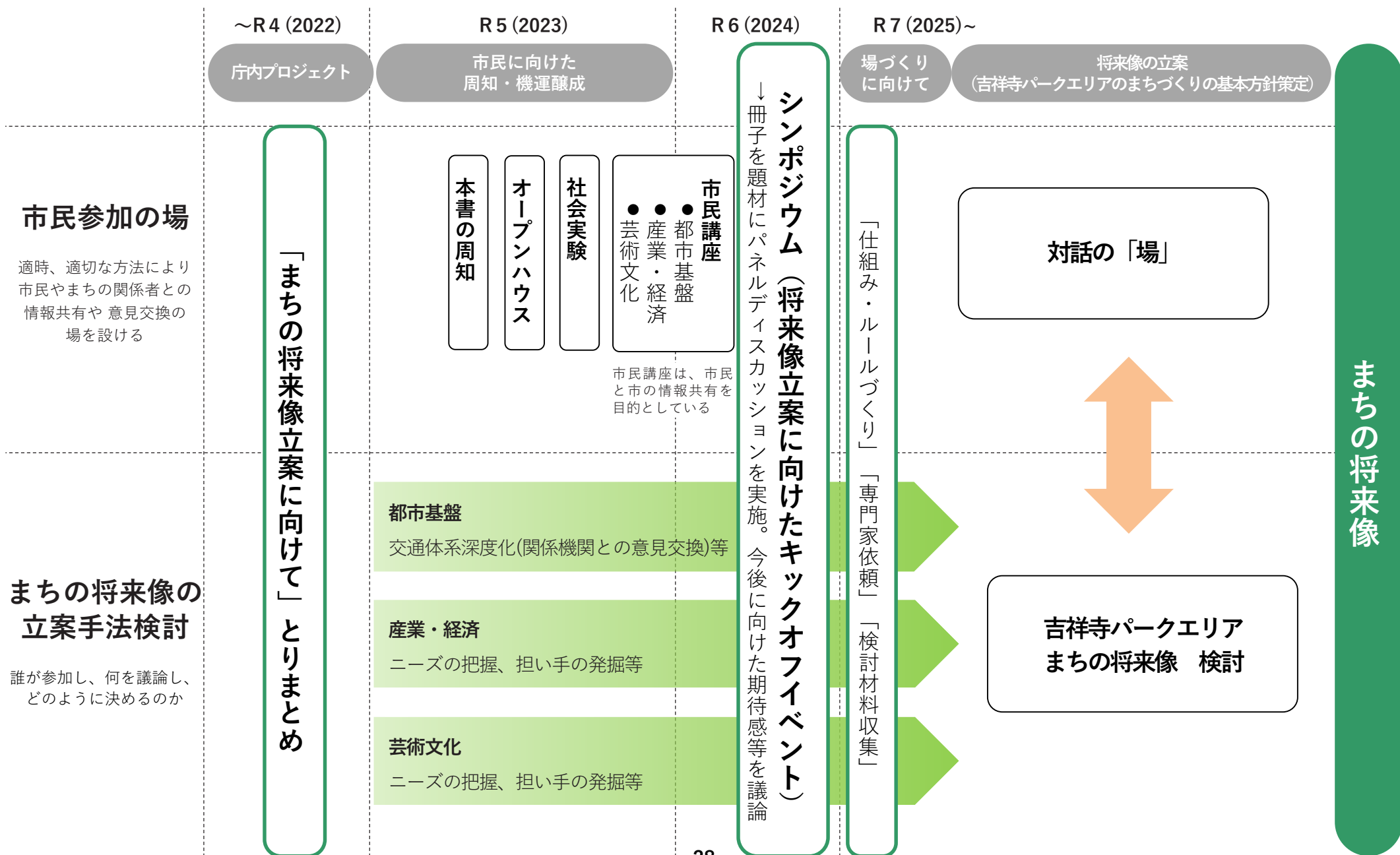


① 散歩の途中にペットが利用できる水飲み場などが整備されています。

4章 今後のスケジュール案

4-1. 今後のスケジュール案

まちの将来像立案に向けて、今後、市民やまちの関係者と一緒に考え、行動していくため、以下のスケジュールを想定しています。



資料編

●武蔵野市吉祥寺パークエリア庁内プロジェクトチーム会議実施記録

令和3(2021)年度から2カ年にわたり、庁内プロジェクトチームによるパークエリアが大切にすべきまちづくりの視点や、目指すべき未来のまちの姿について話し合いを行ってきました。本書「まちの将来像立案に向けて」はプロジェクト会議で話し合いを行った内容を基に作成されています。

●令和3(2021)年度プロジェクトチーム会議の実施概要

会議名	年月日	実施内容
第1回吉祥寺パークエリア まちづくりプロジェクトチーム(仮称)会議	令和3(2021)年5月28日	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチームの目的について パークエリアの現状 パークエリアの課題
第2回吉祥寺パークエリア まちづくりプロジェクトチーム(仮称)会議	令和3(2021)年7月8日	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトメンバーによる事例研究発表
第3回吉祥寺パークエリア まちづくりプロジェクトチーム(仮称)会議	令和3(2021)年8月5日	<ul style="list-style-type: none"> パークエリアのあるべき姿について あるべき姿と現状のギャップについて議論 ギャップを埋める取組みについて議論
第4回吉祥寺パークエリア まちづくりプロジェクトチーム(仮称)会議【勉強会】	令和3(2021)年10月27日	<ul style="list-style-type: none"> 「吉祥寺パークエリアの目指すべき姿について」をテーマとした勉強会を実施
第5回吉祥寺パークエリア まちづくりプロジェクトチーム会議	令和3(2021)年11月17日	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵野公会堂の社会実験について 社会実験におけるデータ収集について
第6回吉祥寺パークエリア まちづくりプロジェクトチーム会議	令和4(2022)年1月26日	<ul style="list-style-type: none"> 社会実験アンケートの検討について 交通量調査について
吉祥寺パークエリアまちづくりプロジェクト中間報告会	令和4(2022)年2月17日	<ul style="list-style-type: none"> 職員向けのプロジェクト報告会
第7回吉祥寺パークエリア まちづくりプロジェクトチーム会議	令和4(2022)年3月3日	<ul style="list-style-type: none"> 中間報告会のふりかえり 令和4(2022)年度プロジェクト支援業務委託について

●令和4(2022)年度プロジェクトチーム会議の実施概要

会議名	日時	実施内容
第1回吉祥寺パークエリア まちづくりプロジェクト会議	令和4(2022)年6月28日	<ul style="list-style-type: none"> グループワーク「現状の再確認・まちのプレイヤー像仮説づくり」
第2回吉祥寺パークエリア まちづくりプロジェクト会議	令和4(2022)年7月27日	<ul style="list-style-type: none"> 全体ワーク「前回ワークの結果と、実際のまちの状況を比較」 グループワーク「現在のまちにある“将来のあるべき姿”は？」
第3回吉祥寺パークエリア まちづくりプロジェクト会議	令和4(2022)年8月30日	<ul style="list-style-type: none"> 全体ワーク「今後の都市を取り巻く将来トレンド」 グループワーク「理想像を実現するために必要な検討課題を見つける」
第4回吉祥寺パークエリア まちづくりプロジェクト会議	令和4(2022)年10月11日	<ul style="list-style-type: none"> 第1回～第3回までのプロジェクト会議の振り返り パークエリアで取組むまちづくり項目の検討
第5回吉祥寺パークエリア まちづくりプロジェクト会議	令和4(2022)年11月22日	<ul style="list-style-type: none"> 「吉祥寺パークエリアのまちの将来像立案に向けた基本的な考え方」について共有 将来像実現に向けた方策、事業パターン等検討
第6回吉祥寺パークエリア まちづくりプロジェクト会議	令和5(2023)年1月26日	<ul style="list-style-type: none"> 「吉祥寺パークエリアまちの将来像立案に向けて」について プロジェクトチーム社会実験実施報告書の確認 今後の流れについて

●プロジェクトチーム会議の様子



グループワークでは現地の地図や写真を基にパークエリアにおける将来像についての取組みアイデアや検討課題について意見交換を実施しました。

今後の都市を取り巻く将来トレンド

SDGs

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを宣言している。

JAPAN



2021年におけるSDGsの達成状況を調べた報告書によると**日本は163カ国中19位**であり、2019年の15位から3年連続で順位を後退した。

- ジェンダー平等（目標5）
- つくる責任、使う責任（目標12）
- 気候変動対策（目標13）
- 海の環境保全（目標14）
- 陸の環境保全（目標15）
- パートナーシップ推進（目標17）

6つが最低評価

上位3カ国は昨年と変わらず1位フィンランド、2位デンマーク、3位スウェーデンが占め、上位10カ国は全て欧州の国である。
 (持続可能な開発ソリューション・ネットワーク (SDSN) より)

気候変動や生物多様性について、先進国の達成状況が**“遅すぎる”**と指摘し、2023年の「SDGsサミット」までにSDGsを進めるための**金融システムの強化を最重要事項**に挙げた。

関連キーワード #Walkable #サステナブルツーリズム #プラスチック削減 #フードロス #ファッションロス #気候変動 #ESG投資

Kichijoji Park-area Town planning Project



全体ワークでは吉祥寺の将来像のアイデアのヒントとして、今後の都市を取り巻く将来トレンドとして、SDGsやWell-beingといったVUCA(先行が不透明で、将来の予測が困難な状態)時代における、パークエリアにおいて着目すべき将来トレンドなどを共有しました。

●武蔵野公会堂社会実験実施記録（令和4（2022）年12月実施）

武蔵野公会堂において物販や飲食への制限緩和など武蔵野公会堂を普段とは異なる利用を可能とし、気軽に立ち寄っていただけるようなイベントを通じて、にぎわいを創出することで、周辺に与える影響や芸術文化の創造・発信の場としての「パークエリアの可能性」を探ることを目的とした社会実験を実施しました。

開催日	<p>< 1日目 > 令和4（2022）年12月17日（土）午前11時～午後5時30分 < 2日目 > 令和4（2022）年12月18日（日）午前10時～午後7時</p>
場所	武蔵野公会堂（2日間共通）
内容	<p>< 1日目 > 「本屋の文化祭」 個人が作る小冊子「ZINE」の販売イベントや本の楽しみかた博、チェコアニメの上映会の他、駐車場には移動本屋で有名なBOOK TRUCKが出店しました。</p>    <p>< 2日目 > 多世代が交差する「吉祥寺パープル百貨店」 「老若男女・ローカルもビジターも、誰もが都立井の頭恩賜公園を感じながら、文化・芸術・スポーツで交流できる、温故知新の空間」をテーマにした「百貨店」のような催しが実施され、冬の暖「ペレットストーブ」体験、三世代で楽しむ「プログラミング」、「クリスマスリース作り」など多彩なお店が出店しました。</p>   

●来場者へのパネル調査および考察

(1) 来場者へのパネル調査の概要

社会実験実施の両日、来場者に向けたパネル調査を行いました。両日合計で442名の方に回答にご協力いただきました。



(2) 来場者へのパネル調査の結果および考察

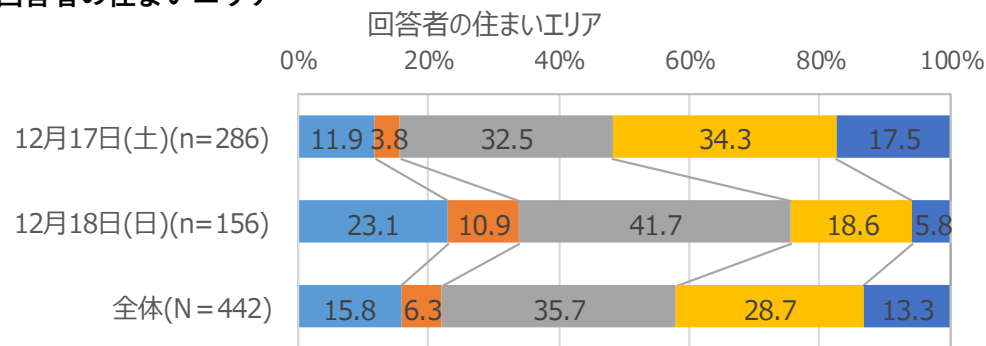
■吉祥寺で魅力ある場所、魅力を感じる点など

■吉祥寺(全体)で魅力を感じる場所 (上位5位抜粋) (複数回答有)	12月17日(土)	12月18日(日)	全体
	n=286	n=156	N=442
井の頭公園	122	83	205
中道通り	38	22	60
ダイヤ街	28	20	48
井の頭自然文化園	18	29	47
吉祥寺通り (パルコ、東急百貨店含む)	22	14	36
■吉祥寺駅南口のパークエリアで魅力ある場所、 魅力を感じる点 (上位5位抜粋) (複数回答有)	12月17日(土)	12月18日(日)	全体
	n=286	n=156	N=442
七井橋通り	93	61	154
井の頭公園	25	49	74
中道通り。おしゃれな雑貨屋さんがある	18	18	36
七井橋通り西側店舗	11	17	28
パークロード	12	12	24

吉祥寺(全体)で魅力を感じる場所として「井の頭公園」が205件と最も多く、パークエリア内では、「井の頭公園」の次に「井の頭自然文化園」が47件と多い結果となりました。

一方、パークエリアの魅力などについての自由意見では、「七井橋通り」に魅力を感じるという意見が154件と最も多く、「井の頭公園」74件を上回っていました。また、おしゃれなお店(古着屋・雑貨屋など)やカフェなどの飲食店が豊富であること、武蔵野公会堂に魅力を感じるという意見も多い結果となりました。また、「パークロード」の歩行の安全性や「公会堂を人が集まる施設にしてほしい」という意見も見られました。

■回答者の住まいエリア



■武蔵野市(公会堂から徒歩20分圏内) ■左記以外の武蔵野市 ■近隣区市 ■その他都内 ■都外

回答者の住まいのエリアで最も多いのは「近隣区市」在住の35.7%で「その他都内」「都外」を含めると77.7%となり、来場の大半が「武蔵野市外」在住でした。また、「武蔵野市」在住は22.1%で、その内「公会堂から徒歩20分圏内」が15.8%と、武蔵野公会堂近隣住民の割合が高い結果となりました。

12月17日(土)は「近隣区市」「その他都内」在住者で20代の来場が比較的多かったことから、若い世代に訴求した目的性の高いイベントであったことが推察されます。12月18日(日)は「徒歩」で来場可能な距離の「武蔵野市」在住や10代以下、30・40代の来場、通りすがりが比較的多かったことから、別の目的地への移動の合間の親子連れを誘導できたと思われます。

また、まちの将来を話す場に参加したいと希望した方のうち、32名の方から連絡先をいただくことができました。

●周辺事業者へのアンケート調査および考察

武蔵野公会堂を中心とした七井橋通り、パープル通り、井ノ頭通りなどを対象とした周辺事業者に向けて、アンケート調査を行いました。39事業者に回答にご協力いただきました。

(1) アンケート調査の概要

- ① 調査方法：48事業者にアンケートを配布
- ② 回収件数：39件（回収率81.2%）
- ③ アンケート調査内容について

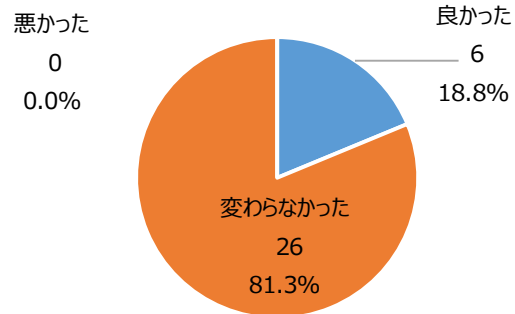
質問		
1	回答者の属性	業種
		店舗場所
		イベントを何で知ったのか
		イベント参加有無
2	今回のイベントについて影響など	来客者数
		雰囲気
		売上
		客層
		イベントの総合評価
		イベントの総合評価
3	社会実験継続の希望有無	
4	今後まちの将来を話す場に参加することへの興味	
5	その他自由意見	

▲アンケート用紙

(2) 周辺事業者アンケートの考察

■イベントによる影響

イベントの総合評価 N=32



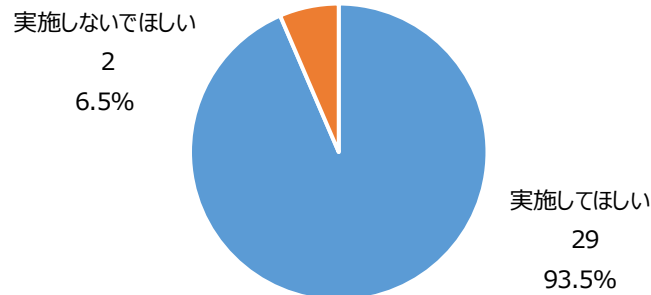
イベントの総合評価は「変わらなかった」が26件（81.3%）と回答が最も多い結果となりました。「良かった」は6件（18.8%）あり、パープル通りや七井橋通りの「卸売業・小売業」、パープル通り井ノ頭通りの「飲食サービス」から良い評価を受けました。

「良かった」と回答した事業者 N = 6

店舗場所	業種	件数
パープル通り	卸売業、小売業	2
	飲食サービス	1
七井橋通り	卸売業、小売業	2
井ノ頭通り	飲食サービス	1

■社会実験継続の希望有無

社会実験の継続 N=31



社会実験の継続は「実施してほしい」が29件（93.5%）と多く、「実施してほしい」の回答理由としては、「街に活気が出て楽しいから」という意見や、イベントの効果を感じた意見として、「街が賑わっていた。集客も増加した。」「当日は公会堂前でのテント設営でイベントを行っている感じ、雰囲気は伝わり普段より通りがにぎやかだったので、今後も実施希望。」「お店の近くまで足を運ぶ方は増えた印象でした。」といったイベントによるまちのにぎわいや活性化を期待する意見、実感した意見が見受けられました。

まちの将来を話す場に参加したいと希望した事業者のうち、17名の方から連絡先をいただくことができました。

●歩行者通行量に関する調査および考察

■南北方向歩行者通行量

ケース	通常時	イベント実施時	社会実験実施時	
日時	令和4(2022)年 3月5日(土)	令和4(2022)年 2月26日(土)	令和4(2022)年 12月17日(土)	令和4(2022)年 12月18日(日)
武蔵野公会堂使用状況	通常使用	吉祥寺 アニメーション映画祭	社会実験 本屋の文化祭	社会実験 吉祥寺パープル百貨店
調査地点① 武蔵野公会堂前(パープル通り)	7,919人 (25%)	9,177人 (29%)	8,111人 (33%)	7,910人 (29%)
調査地点② 丸井西側(七井橋通り)	24,138人 (75%)	22,669人 (71%)	16,235人 (67%)	19,656人 (71%)
合計	32,057人	31,846人	24,346人	27,566人

吉祥寺駅南口から都立井の頭恩賜公園へとつながる主要な歩行者動線であるパープル通り・七井橋通りの南北方向歩行者通行量の合計は、通常時である3月5日(土)が最も多く32,057人であり、社会実験実施時である12月17日(土)が最も少ない24,346人でした。また、パープル通りと七井橋通りの歩行者通行量の割合はおおよそ3対7となっており七井橋通りの利用が多い結果となりました。

社会実験実施期間で比較すると、合計では12月17日(土)が24,346人に対し12月18日(日)が27,566人と、12月18日(日)の通行量が多い結果となりましたが、調査地点①武蔵野公会堂前(パープル通り)では12月17日(土)の通行量が8,111人に対し12月18日(日)の通行量が7,910人と、12月17日(土)の通行量が上回っていました。

調査地点①武蔵野公会堂前(パープル通り)の通行量の比率は通常時の3月5日(土)が25%に対し、イベント実施時は29%、社会実験実施時の12月17日(土)は33%、12月18日(日)は29%と、数ポイント高くなっていました。

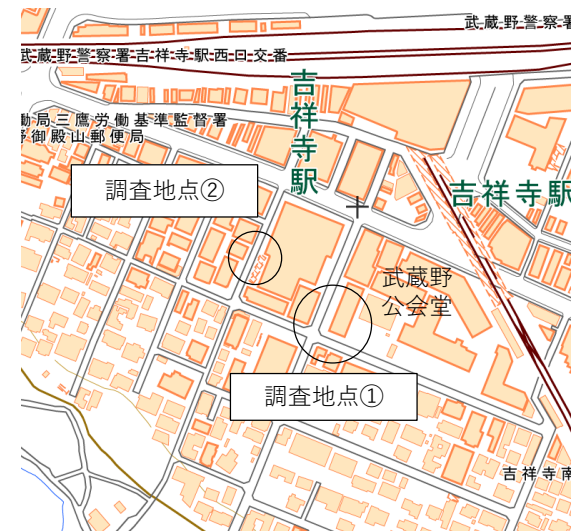
■武蔵野公会堂から周辺市街地への歩行者

ケース	通常時	イベント実施時	社会実験実施時		
日時	令和4(2022)年 3月5日(土)	令和4(2022)年 2月26日(土)	令和4(2022)年 12月17日(土)	令和4(2022)年 12月18日(日)	
武蔵野公会堂使用状況	通常使用	吉祥寺 アニメーション映画祭	社会実験 本屋の文化祭	社会実験 吉祥寺パープル百貨店	
調査地点① 武蔵野公会堂前 (パープル通り)	ウ 吉祥寺駅方面	97人 (84%)	319人 (72%)	565人 (73%)	196人 (64%)
	エ 七井橋通り方面	14人 (12%)	83人 (19%)	146人 (19%)	44人 (14%)
	オ 井の頭恩賜公園方面	3人 (3%)	29人 (7%)	45人 (6%)	32人 (10%)
	カ 住宅街方面	1人 (1%)	14人 (3%)	21人 (3%)	35人 (11%)
合計	115人	445人	777人	307人	

武蔵野公会堂から周辺市街地への歩行者通行量は吉祥寺駅方向が60%以上と最も割合が高く、次いで七井橋通り方向が12%~19%と割合が高かった。吉祥寺駅方面への移動の割合は通常時である3月5日(土)が84%と最も高いのに対し、イベントや社会実験のあった12月17日(土)が73%、2月26日(土)72%、12月18日(日)が64%と割合が低くなっていました。

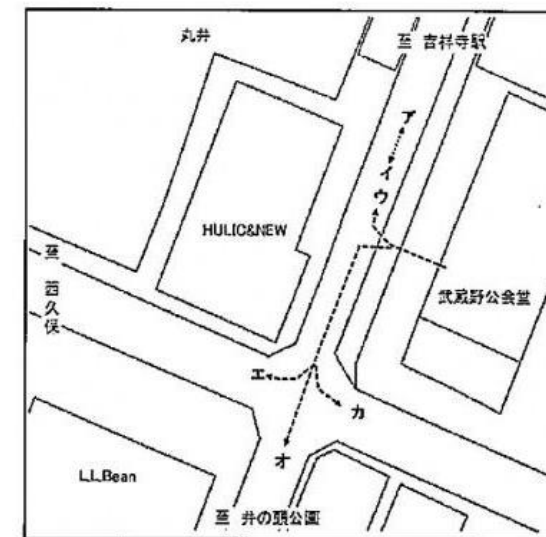
七井橋通り方面への移動の割合としてはイベントや社会実験のあった12月17日(土)、2月26日(土)が19%、12月18日(日)が14%、通常時の3月5日(土)が12%とあまり大きな差は見られなかった結果となりました。

以上をふまえると、七井橋通りはイベント開催に関わらず通行量が多く、武蔵野公会堂前(パープル通り)からの移動に注目すると、イベント実施によって武蔵野公会堂から駅方向以外への移動を生み、周辺エリアへ足を延ばした歩行者が多かったことがうかがえます。



調査地点

(出典：国土地理院ウェブサイト)



武蔵野公会堂からの移動方向

●社会実験の総括

■社会実験のイベント成果について

- 両日合わせて約1,500人が来場し、武蔵野公会堂に人を呼び込み、パークエリアに新たなにぎわいを生み出すことができました。
- 社会実験イベントに参加した出店者からイベントの継続に前向きな意見を収集しました。「雰囲気（レトロでよい）」「立地（駅からの近さ）」「ホール・会議室・駐車場が利用可能で映画観賞とイベントの両方を楽しめる」など利用した際に良かったと感じた意見を出店者・来場者から多く収集したことから、武蔵野公会堂は様々な用途で活用できるポテンシャルがあると推察されます。
- 多くの来場者や周辺事業者がまちの将来を話す場への参加に高い関心があることが分かりました。来場者では32名、周辺事業者では17名の方から連絡先をいただくことができたため、今後は、この方々に継続して情報発信を行い、パークエリアの将来像立案に向けて機運を高めていくことが望ましいと考えています。

■社会実験によるパークエリアの影響について（来場者へのパネル調査より）

- 当日既に行った場所、これから向かう場所として「井の頭公園」は両日合わせて、73件と多く挙げられていた他、世代や居住地に関わらず、吉祥寺で魅力を感じる場所としても多く挙げられていたことから、吉祥寺の魅力として印象が強いことがうかがえました。
- 一方でパークエリア内に限定すると、魅力ある場所として60代以下の幅広い年代から「七井橋通り」との回答を多く収集しており、「井の頭公園」との回答を上回っていました。理由としておしゃれな古着屋や雑貨屋、飲食店が多い事が挙げられており、パークエリアの個性的なまちなみが魅力として捉えられていることがうかがえました。また、パークロードの歩行の安全性や武蔵野公会堂活用への期待も見られ、まちがより良くなることを望む意見も見受けられました。
- 以上、2点から吉祥寺のまちの魅力の中心として都立井の頭恩賜公園の印象が強いですが、都立井の頭恩賜公園へつながるパークエリアの魅力も個性的で特徴のあることが幅広い層に根付いており、まちに対する印象は良いものだと推察されます。

■社会実験によるパークエリアの影響について（事業者アンケート調査より）

- イベント開催による「来客者数は変わらなかった」との回答が86.5%、「売上は変わらなかった」との回答が86.5%と多く大きな影響は見られなかったものの、中には、「イベント帰りの人が立ち寄ってくれた」との回答もありました。また、社会実験の継続は「実施してほしい」が29件（93.5%）と多く、「街が賑わっていた。集客も増加した。」「当日は公会堂前でのテント設営でイベントを行っている感じ、雰囲気は伝わり普段より通りがにぎやかだったので、今後も実施希望。」といったイベントによるまちのにぎわいや活性化を期待する意見などを収集しており、イベントによるまちのにぎわいや活性化への期待が高まったと推察されます。

■社会実験によるパークエリアの影響について（歩行者通行量調査より）

- 武蔵野公会堂前（パープル通り）の通行量の比率は通常時の3月5日（土）が25%に対し、イベント実施時は29%、社会実験実施時の12月17日（土）は33%、12月18日（日）は29%と、数ポイント高くなっていたことから、イベント開催により通行量の増加が見られました。
- 武蔵野公会堂から周辺市街地への通行量では通常時は駅方向の移動が84%であるのに対し、イベント実施時は駅方向への移動が64%～73%に推移し、七井橋通り、都立井の頭恩賜公園、住宅街方面に向かう割合が数ポイント高くなっていることから、イベント開催によってパープル通りから周辺エリアへの移動が増え、パークエリアのにぎわいを面的に広げる効果があったと推察されます。

吉祥寺パークエリア まちの将来像立案に向けて ～吉祥寺パークエリアまちづくり庁内プロジェクトからの提案～

発行日 令和5(2023)年3月

発行者 吉祥寺パークエリアまちづくり庁内プロジェクトチーム (武蔵野市)

●吉祥寺パークエリアまちづくり庁内プロジェクトチームメンバー

滝沢 仁 (プロジェクトリーダー)	総合政策部企画調整課 都市機能再構築担当課長	南 宏道 (令和4年8月から)	市民部市民活動推進課 コミュニティ推進係 文化施策調整担当係長	吉清 雅英 (オブザーバー)	総合政策部 部長
畑 裕記 (令和4年4月から)	総合政策部企画調整課 都市機能再構築担当 主任	柴田 直子 (令和4年7月まで)	市民部市民活動推進課 コミュニティ推進係 文化施策調整担当係長	荻野 芳明 (オブザーバー)	都市整備部 部長
伊藤 聡 (令和4年3月まで)	総合政策部企画調整課 都市機能再構築担当 企画調整主査	大久保 泉	市民部多文化共生・交流課 多文化共生・交流主査 (令和4年4月から) 財務部財政課 財政主査 (令和4年3月まで)	横瀬 英樹 (オブザーバー) (令和4年4月から)	防災安全部防災課 課長
片桐 知世 (令和4年9月まで)	総合政策部資産活用課 主事	水井 朋之	都市整備部まちづくり推進課 武蔵境まちづくり担当係長兼まちづくり推進主査 (令和4年10月から) 都市整備部まちづくり推進課 まちづくり推進主査 (令和4年9月まで)	奥野 聡一郎 (オブザーバー) (令和4年3月まで)	防災安全部防災課 課長
菊地 大輔	財務部財政課 財政主査 (令和4年4月から) 後藤・安田記念東京都市研究所 主任 (令和4年3月まで)	森野 増王 (令和4年10月から)	都市整備部吉祥寺まちづくり事務所 まちづくり主査	大久保 信行 (オブザーバー) (令和4年4月から) (サブリーダー) (令和4年3月まで)	都市整備部道路管理課 課長 (令和4年4月から) 都市整備部 吉祥寺まちづくり事務所 副参事 (令和4年3月まで)
北村 拓也	市民部産業振興課産業振興係 まちの魅力向上担当係長 (令和4年4月から) 市民部産業振興課産業振興係 主査 (令和4年3月まで) 市民部産業振興課産業振興係 主任 (令和3年9月まで)	篠田 南 (令和4年4月から8月まで)	都市整備部吉祥寺まちづくり事務所 主任	山本 敬史 (オブザーバー) (令和3年11月から)	一般財団法人武蔵野市開発公社 シニアマネージャー (令和4年4月から) 一般財団法人武蔵野市開発公社 まちづくり課 課長 (令和4年3月まで)
		石塚 夢子	都市整備部交通企画課道路交通企画係 主査	西山 徹 (オブザーバー) (令和4年4月から)	一般財団法人武蔵野市開発公社 主任

**吉祥寺パークエリアまちの将来像立案に向けて
～吉祥寺パークエリアまちづくり庁内プロジェクトからの提案～**

発行日：令和5(2023)年3月 発行者：吉祥寺パークエリアまちづくり庁内プロジェクトチーム(武蔵野市)